

# 北小だより

# みなみかぜ

編集発行 横須賀市立北下浦小学校 福島 淳

〒239-0842 横須賀市長沢1-29-1

Tel: (046) 848-0037

Fax: (046) 848-0386

E-mail: admini@kitashitaura-e.yknet.ed.jp



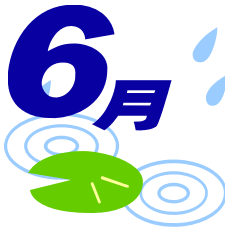
## 学校教育目標 (目指す子ども像)

明るく健康な子

よく考える子

心豊かな子

仲よく行動する子



始まりの日は、初夏の香りが届く雨あがりの翌朝でした。  
北下浦小学校の周りのアジサイの花は、ほんのり色づき、葉はぐんぐんと力強く、空を目指しています。  
232人の北小っ子たちには、今年はどうな夏が待っているのでしょうか。

## 明日を信じて

新型コロナウイルス感染拡大防止のために長期に及んだ休校措置の再開からちょうど二年が過ぎました。

その中で、学校生活は大きな変化をしました。

まずは、何事にも優先して、感染予防の徹底ということです。

マスクの着用、ソーシャルディスタンスを守って「密」をさける、毎日の検温も含めた健康観察表の提出、教室内の机の間隔、定期的な換気など、多くの配慮を要しなければなりません。

給食の時間は、全員が前を向き、楽しい友だちとの会話もなく黙って食べています。

家庭科での調理実習やクラブなどは、実施できない時期もありました。

運動会や卒業式などの学校行事も制限されました。

しかし、多くの変化の中での新しい学校様式の中でも、子どもたちは見事に適応してくれています。

目に見えない相手と過ごす日々は、今まで誰も経験したことのない教育活動ですが、決して無駄な二年間だったわけではありません。



コロナ対策のマスク着用については、屋外で会話が少なければ必要はないとの考え方が示されました。

小学生の間では、表情で喜怒哀楽が掴めず、友だちとのけんかが多くなったという事例が増えたそうです。

これからは熱中症の懸念もあり、緩和は自然の流れともいえるでしょう。

コロナ禍の制約はつらいものです。子どもにとってはなおさらでしょう。

「子どもの将来不安に対する調査」では「自分に価値を感じない」と精神的に追い込まれている人が少なからずいることも判明しています。

長引く活動制限では、思い出づくりの機会も奪われています。

ストレスで心が傷つくのも当然かもしれません。

マスク着用が常態化し、素顔を見せるのを恥ずかしがる子も増えているとのこと。

コミュニケーションの発達に影響しかねないとも言われています。

子どもたちにとっては、このような状況の中でも、北下浦小学校が安全で安心できる場であり、だれにとっても、いちばん大事なこと(健康や生命、心のケア、学習や遊びなど)が、相談できる、気づいてもらえる、助けてもらえる・・・職員一同、そうしたことが何よりも重視されるよう、これからも、常に意識していきたいと思っております。

素顔の笑みを一日も早く見たいものです。

各家庭で、日本中で、私たち大人自身が、不安とストレスを抱えながら目に見えない感染症とのたたかいに取り組んでいる中で、子どもたちが受けている影響は想像にかたくありません。

子どもたちは、前例のない感染症とのたたかいの中で、一人ひとりの責任ある行動が、自分や周りの大切な人たちを守るということを学んでいることでしょう。

現在の危機を好機に変え、子どもたちにとっての最善を実現する方向に社会全体が向かっていくことを願っています。

皆様におかれましても、今後も様々な困難が待ち受けているかもしれません。

今だからこそ、学校とご家庭と地域の皆様と、「力」を合わせていきましょう。



**1・2年**  
 4/25(月) 北下浦海岸  
 はまあそび

**3・4年**  
 5/17(火) 北下浦海岸  
 サンドアート



# 遠足!!

天候が不安定でしたが、  
 どの学年もそれぞれの「海」を満喫しました。  
 元気に出かけて、燃え尽きて帰ってきた子たちもいました。  
 無事に行けて本当によかったです!



**5・6年**  
 5/20(金) 野島公園・海の公園  
 砂の造形大会

